

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員が個々に介護に対する考え方や介護方法に違いが有り、統一されていない。同レベルの介護が出来ていない為、ご利用者様が職員を比べてしまう。	介護に対する考え方や気持ちを統一し、誰が行っても同じレベルの介護が出来る様にして行きたい。	各委員会での情報共有を行い、毎月のミーティングでご利用者様の各担当が見直しを行い、考え方や介護方法の統一を図る。	6ヶ月
2	24	施設に入居前の情報が周知出来ていない為、日常の会話や介護に過去の生活を活かしていない。	各ご利用者様の趣味嗜好ややっていた仕事などを周知する事によって、日常の会話や行動に幅を持たせ、臨機応変に対応出来る介護技術を身に着ける。	アセスメント内容の充実を図り、カンファレンスで職員に周知出来る体制を作る。入居から時間が経過しているご利用者様も定期的にアセスメントの読み返しを行い、その方らしい生活を把握する。	3ヶ月
3	40	汁物以外は既製の食材を使用している為、味の変化に乏しい。各ご利用者様の好みに対応出来ず、残食が出てしまう。	毎食は不可能で有っても、好みの食事を摂取して頂ける様に工夫する。食事の時間が楽しみに感じて頂ける為に、個々の好みを把握する。	ご利用者様の各担当者が聞き取りを行い、手作りメニューに入れられる様にミーティング等で話し合いを行う。食材の仕入れにも工夫。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。